

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。



2014年 夏号 vol.06



地方独立行政法人
下関市立市民病院
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL



▲早期発見・早期治療のためには、まず、検査することが大事です。消化器内科医師による内視鏡検査を受けましょう。
(左から、村上医師、具嶋医長、山口医長)

特集 ピロリ菌って何の菌？

がん拠点病院コーナー 「乳がん患者会 フォワードの会」

連載エッセイ 薬局

お知らせ 「7対1看護配置基準を取得しました」「渡航外来を開設！」ほか

もっと知りたい 医療相談室 医療ソーシャルワーカー

連携医の紹介（領家循環器・内科、光風園病院）

ピロリ菌って 何の菌??



～慢性胃炎・胃がんの撲滅を目指して～



平成25年2月から慢性胃炎（萎縮性胃炎）に対して
ピロリ菌の検査・治療を行うことができるようになりました。
ピロリ菌をよく知り、胃炎、胃がんとの関わりについて学びましょう。

ピロリ菌とは…

ピロリ菌は、正式には「ヘリコバクター・ピロリ」と言い、胃の粘膜に感染して胃炎を引き起こす細菌です。ピロリ菌は幼少時に感染することが多く、生涯に渡って感染が持続し、慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなど様々な胃・十二指腸の病気を引き起します。

ピロリ菌は本来、感染力の弱い細菌で、口から感染すると考えられています。環境因子や家族内感染など様々な要因が原因と考えられており、以前は飲み水などに混入したピロリ菌による感染が疑われていましたが、菌による感染が疑われていました。衛生環境がよくなつた現在ではピロリ菌感染者の唾液を介した感染が最も多いと考えられています。

日本でピロリ菌に感染している人は少なくとも3000万人以上といわれています。特に50歳以上の感染者の割合が高いとされています。衛生環境の改善で高齢者に比べ、若年者の感染率は著明に低下しています。

ピロリ菌と関係している病気

- ▽胃・十二指腸潰瘍
 - ▽胃がん
 - ▽慢性胃炎（萎縮性胃炎）
 - ▽胃M A L T（マルト）リンパ腫
 - ▽特発性血小板減少性紫斑病
 - ▽胃過形成性ポリープ
 - ▽機能性ディスペプシア（F D）
 - ▽その他の疾患（鉄欠乏性貧血、慢性じんましん）
- など、様々な病気との関わりが分かっています。

ピロリ菌の感染率

保険適応でピロリ菌の検査を行うことができるのは、次のいずれかに該当する方です。

- ▽内視鏡で胃潰瘍または十二指腸潰瘍と診断された
- ▽早期胃がんに対して内視鏡的治療を行った

ピロリ菌の検査

保険適応でピロリ菌の検査を行うことができる方は、次のいずれかに該当する方です。

ピロリ菌の検査法には内視鏡を使わぬ方法と使わない方法があります。

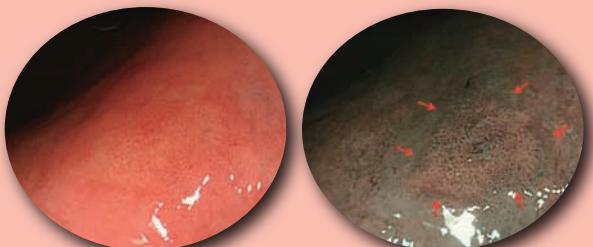
内視鏡を使う方法は胃の組織の一部を採取してピロリ菌がいるか調べる検査法です。内視鏡を使わない方法として①尿素呼気試験②血中または尿中の抗体測定③便中の抗原検査法です。内視鏡を使わぬ方法は尿中の抗体測定があります。診断薬を服用し、服用前後の呼気を集めて診断する尿素呼気試験が最も精度が高いと言われていますが、どんな検査法でも100%正しいということではなく、普段服用している内服薬などによっては偽陰性、偽陽性となることもありますので検査の選び方に関しては医師にご相談下さい。

NBI併用内視鏡について

当院では胃がん、食道がん、大腸がんなどの消化管がんの早期発見、診断のためにNBI(Narrow Band Imaging)併用内視鏡を使用しています。

NBIとは二つの中心波長とする光(415nmと540nm)を投影することで粘膜の微細な表面構造や微小血管をはっきりと写し出す技術です。がんでは周囲の正常粘膜とは表面構造や微小血管が異なってきますので、拡大機能を備えた内視鏡を用い、NBI観察することで、今まで見逃されていたような食道がん、胃がんなども見つけることができます。

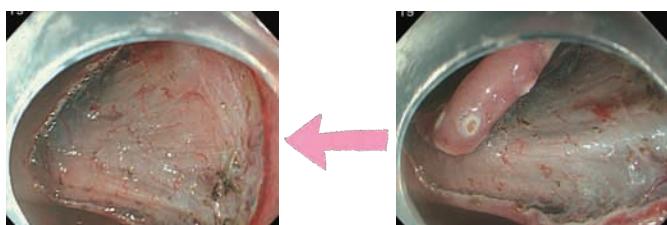
微細な表面構造や微小血管を評価することで、正確な診断に近づくことが可能となり、内視鏡治療、及び外科手術といった適切な治療法を判断することができます。



▲左：通常内視鏡でみた胃。
右：NBI内視鏡でみた胃。矢印内が、がんの範囲。通常の内視鏡でみるよりもはっきり確認できます。



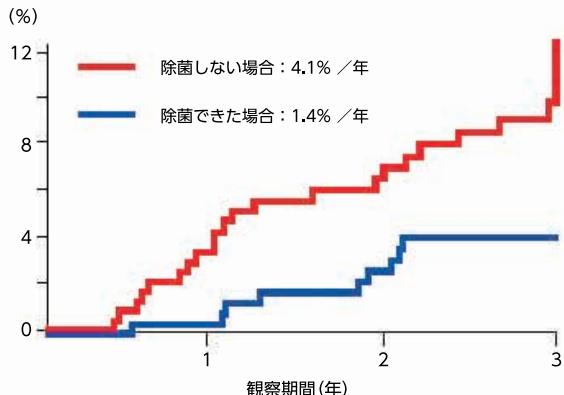
▼ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）で、胃がん治療を行ったもの



治療後

治療前

早期胃がんに対する内視鏡治療後の別の胃がんの発症率



Fukase K, et al: Lancet 2008

ピロリ菌の治療

酸分泌抑制薬（プロトンポンプ阻害剤）と、2種類の抗菌薬（アモキシシリンとクラリスロマイシン）の3種類の薬を1日2回、1週間服用します。約7割～8割の方は除菌に成功しますが、失敗した場合は抗生素の一つを他の薬剤に変更して再度除菌治療を行うことが保険上可能であり、2回目の除菌治療では約9割の方が除菌成功しています。薬の飲み忘れ、抗菌薬への耐性、内服中の飲酒などが原因で除菌が不成功となることがあります。除菌が

ピロリ菌除菌と胃がん予防

不成功になると、胃・十二指腸潰瘍などの原疾患が再発することがありますので除菌後の判定検査も必ず行いましょう。

早期胃がんに対して内視鏡的治療を受けた患者さまにピロリ菌を除菌することにより、別の部位にできる新しい胃がんの発症率が約3分の1に減少します（上グラフ参照）。当院では内視鏡を使った胃がん治療を積極的に行っており、治療後にピロリ菌の除菌を行っています。

内視鏡的治療は外科的な手術に比べ、お腹に傷もつかず、入院日数も短い利点がある半面、がんの進行度・組織型などによっては内視鏡的治療が行えない場合があります。胃がんは無症状のことが多く、早期の段階で発見することが重要です。まずは内視鏡検査を積極的に受けてみましょう。

消化器内科医長
具嶋正樹
ぐしままさき



がん拠点病院コーナー

Vol. 06

乳がん患者会「フォワード」

1999（平成11）年、当時の乳腺外科医と乳がん患者さまの有志が集まり、初めての患者会が行われました。翌年、「前向きに」乳がんと闘っていきたいという願いを込めて「フォワード」と名付けられました。

会は発足から今年で15年になります。現在「フォワード」では、年4回の定例会開催、市民講座など各種講演会へのパネリストとしての参加、患者さま同士でのお楽しみ会（食事会やお花見等、年に数回）などの活動を行っています。

外科外来は「フォワード」発足当時より、会の窓口として活動をサポートしています。定例会は、石光寿幸乳腺外科部長、看護師、放射線技師、臨床検査技師等、多職種の職員が支援しています。医療関係者が白衣を着用せずに参加するため、患

者さまの中には「通常の受診の時と違って病気や治療のことを聞きやすくて話しやすい」とおっしゃる方もいらっしゃいます。定例会では、院内の職員（部署や職種を問わず）に講師を依頼しての講演会、茶話会、恒例の日帰りバス旅行などが行われ、乳がんに関する情報交換や、同じ病気を経験したからこそ共有できる辛さや悩みを話せる場となっています。

“同じ病気（乳がん）を経験した辛さは同じ”という主旨から、

「フォワード」には他院で治療や検査を続けられている患者さまもいらっしゃいます。定例会



へはご家族だけの参加もできます。

私たちは“これからもみなさまのそばに…”という気持ちで寄り添つてまいります。お近くに乳がんを経験されて辛い思いを抱えている患者さまがおられましたら、どうぞお気軽に外科外来へご相談下さい。

1人で悩まないで…一緒に泣いて、笑って、そして明日から元気に過ごせるお手伝いができる場所になりたいと思っています。

<外科外来 看護師 藤野 瞳美>



▲外科外来は笑顔で患者さまをサポートします。

良質、適切の優しい薬物療法を

薬局は現在、薬剤師13名、調剤助手2名で組織しています。

「患者さまへの安心、良質、適切の優しい薬物療法に寄与する」ことを理念に、調剤業務の他、注射調剤、製剤、抗がん剤の調製、医薬品情報業務、薬品管理、それに近年主たる業務となっている薬剤管理指導業務（病棟業務）を行っています。

病院薬剤師の仕事はここ十数年のうちに多岐に渡るようになり、以前は外来調剤が主であったのが、外来処方が院内から院外へ移行するのに伴い、入院時の持参薬鑑別は100%に限りなく近い数字に、また薬剤管理指導業務は劇的に増加し、院内の薬剤師はすっかり患者さまを支える病棟スタッフの一員として認識されるようになったと感じています。また、2年前の電子カルテ導入によって患者さまの情報をより入手し



薬局 副薬局長 香河 里江子

「薬の専門家」として、皆さまの力になります。

【連載 エッセイ】

薬局

やすくなり、更に繊細で適切な薬物療法が行えるようになつたと嬉しく思っています。

薬剤管理指導業務を通じ、患者さまに「こんなに丁寧に説明が聴けてよかつた。」と喜ばれた時は、私達の働きが実を結んだと非常に嬉しく思います。病棟で医師など他のスタッフにもフォローしてもうえてよかつたと感謝された時も

薬剤師の存在意義を実感します。

今年は4月に新卒の女性1名、6月に他院で経験のある男性1名が補充され、新たな顔ぶれが羽ばたいていくのを待ち望んでいるところです。私達は今後も「薬の専門家」として、高い知識と技能の水準を維持するよう研鑽に努め、患者さまに適切で優しい医療を提供できるよう努力していきます。

今年は4月に新卒の女性1名、6月に他院で経験のある男性1名が補充され、新たな顔ぶれが羽ばたいていくのを待ち望んでいるところです。私達は今後も「薬の専門家」として、高い知識と技能の水準を維持するよう研鑽に努め、患者さまに適切で優しい医療を提供できるよう努力していきます。

7対1看護配置基準を取得しました。

当院は、6月1日に一般病棟入院基本料における7対1看護配置基準を取得しました。

7対1看護配置基準とは、平均して一般病棟に入院されている方7人に対して1人の看護職員が配置されていることを意味します。

これまでの10対1看護配置基準よりも手厚く看護職員を配置し、一層良質で充実した看護を提供できる体制を整えました。

これを機会に、さらなる業務改善に取り組み、これまで以上に患者さまに安全で質の高い医療・看護を提供できるように努めます。



▲新人看護師研修風景。現在は新人看護師も活躍中です。

渡航外来を開設しました！

6月から海外旅行、海外勤務、留学などで海外に渡航される方を対象にした渡航外来を開設しました。渡航先の感染症情報の提供や、ワクチン接種などを行います。

●主な診療内容

△ワクチン接種 △海外渡航に関する健康相談 △渡航先の感染症情報の提供や注意点・予防法などの説明 △英文での診断書・証明書の作成

●外来診療日 毎週月曜日 13:00～16:00、水曜日 9:00～12:00

※完全予約制（お電話にて事前にご予約ください）

Tel: 083-231-4111（内科外来）予約は平日の13:00～17:00に受け付け。



●担当医：原田由紀子

「niko Cafe」オープン！

6月から、病室外でホッと一息していただくために、入院中の患者さまを対象にしたカフェを開いています。治療の合間にゆったりとした時間を過ごしていただければと思います。

【実施日時】毎週木曜日

14:30～15:30

【場所】4階デイルーム

【料金】無料



- 皆さまのお越しをお待ちしています。
日時…9月23日（火・祝）10時～正午
内容…
●院内ミニコンサート♪
●看護師による血圧・体脂肪・骨密度測定
●誕生日食を食べてみよう！
●血管・肺年齢測定
●放射線部探検ツアー
●健康相談、お薬相談など
※当日先着順の催しもあります。
申し込みは不要です。



「市民の保健室」開催！

◀昨年の
市民の保健室



医療ソーシャルワーカー
かねこけいこ
金子佳子



▲がん相談・医療相談室では、病気に伴う不安や問題について患者さまやご家族の方と一緒に考え、問題解決のお手伝いをしています。受付時間は、平日の午前8時30分～午後5時です。<電話：083-224-3709>

この仕事のやりがいは何ですか？

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の主な仕事です。病気で不安な気持ちを抱えている患者さんやそのご家族のサポート役として、院内でさまざまな相談を受けています。

医療は病気を治療するだけではなく

医療ソーシャルワーカーの仕事内容を教えてください。

患者さんが安心して治療を受けられるように、例えば治療費のことや、退院後の生活の不安などの心配事について相談に乗ることが私たち医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の主な仕事です。病気で不安な気持ちを抱えている患者さんやそのご家族のサポート役として、院内でさまざまな相談を受けています。

今後の目標は何ですか？

私自身、一人の市民として、家族が病気になったとき、安心して預けることができる病院が市内にあってほしいと思っていました。市立病院である市民病院がその役割を担つていれば良いなと思うし、そのような病院スタッフの一員であることが

の道すじを患者さんと一緒に整えることができ、その笑顔や安堵の表情を見ることができたときは、やりがいを感じます。職業として尊敬している医師や看護師さんなどの役に立てたと感じる瞬間もうれしいです。

休日などの過ごし方を教えてください。

家で飼っている二匹のマルチーズ犬で飼っているのが癒しの時間です。普段はわがままを楽しむのが私の笑顔の秘訣です。

今は病院職員の意識が変わり、どんどん良い方へ進んでいることが実感できています。また院内だけではなく、院外でも「病院の雰囲気が明るくなつた」「職員の接遇が良くなつた」などの評判を聞くことが増えました。

私は褥瘡管理専従として、院内の褥瘡発生ゼロを目指し、活動しています。褥瘡発生危険因子の評価、マットレスの選択、体位変換指導、スキンケア等、病棟看護師と共に対策を講じます。当院では多職種で褥瘡チームを構成し、各専門性を発揮しながら、患者さまに応じた治療やケアを提供する体制を整えています。

退院後も患者さまが快適な生活が送れるよう、今後は訪問看護ステーション等と密に連絡を取りたいと考えています。

認定看護師だより Vol.5

皮膚・排泄ケア認定看護師
藤重淳子



地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
当院と連携医療機関は、患者さまの病状に
合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつ
くっています。

下関市立市民病院 地域医療連携室
電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

領家循環器・内科 院長 領家 勉 先生

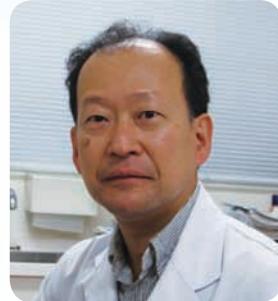
いつも病診連携では市民病院の先生、関係者の方々に大変お世話になっています。

4年前に下関医療センター（旧下関厚生病院）から現在の細江町に開業しました。勤務医時代には、急性心筋梗塞などカテーテル治療等専門にしていましたが、開業してからはそのような患者さんが来られれば市民病院をはじめ、総合病院にすぐに送る立場となり、勤務医の先生にはいつも申し訳ないと思いつつも、病診連携の重要性、ありがたさをひしひしと感じながら日々診療しています。

また、最近は患者さんの高齢化で循環器的には抗血小板、抗凝固剤などを服用するケースも多くなり、かつ複数の疾患を合わせ持つなどで、手術や観血的な検査をする時にしばしば他科の先生にもご迷惑をおかけし、悩ませているところかと思います。できるだけ速やかに診療情報を送らせて頂くよう努めていますので、よろしくお願ひいたします。

高齢化と医療の進歩でますます医療が複雑化していますが、一診療科だけでは決して解決できず、色々な地域の絆がこれからますます重要となってくるかと思います。微力ながらその一部になれればと思います。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

〒750-0016 下関市細江町2-1-9 TEL：083-250-7321 <循環器内、内>
月・火・水・金：9:00～12:30、14:00～18:00 木・土：9:00～12:30



光風園病院 院長 木下 肇 先生



日頃は密な連携を取らせていただき大変お世話になっております。

光風園病院は慢性期医療とリハビリテーションを得意とする病院です。回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰率は8割を超えております。

私たちの病院は、本年4月に織畠病院と合併し、298人床に増床しました。病床が増えたことで待機日数も短縮され、幅広い病状の患者さんの治療が可能になりました。また、回復期リハビリテーション病棟と最新の設備を揃えた訓練室を新築、既存病棟も全面改修し快適な治療環境を整えました。

さて、国は新しい時代に向けて地域医療の充実を進めています。光風園病院は5月に在宅療養後方支援病院に指定され、9月には地域医療の要として新設された地域包括ケア病棟を開設予定です。この病棟では、急性期病院から治療を引き継ぐ亜急性期医療やリハビリテーションを行い、患者さんの在宅復帰を目指します。

併設の老人保健施設さくら寮、特別養護老人ホームみどり園、訪問看護、訪問リハビリテーション等と合わせて、地域での生活を支える病院として下関市立市民病院との連携を更に推進させていただきたいと考えております。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

〒752-0928 下関市長府才川2-21-2 TEL：083-248-0254
<内、呼吸器、循環器、皮膚、リハビリテーション>

外来診療のご案内

2014年8月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科	具嶋 正樹／村上 祐一		山口 敏	具嶋 正樹	山口 敏	村上 祐一
内科・呼吸器内科						内村 圭吾(※)
内科・循環器内科	金子 武生	金子 武生		伊奈 雄二郎	辛島 詠士	辛島 詠士
禁煙外来(午前中・予約制)						金子 武生
内科・腎臓内科	田中 洋澄	坂井 尚二／乙咩 崇臣	吉水 秋子／浦江 憲吾	坂井 尚二／吉村 潤子	坂井 尚二／吉村 潤子	前田 大登(※)
内科・血液内科		久保 安孝		久保 安孝		
内科 リウマチ膠原病内科	真弓 武仁 猪口 翔一朗(※)			真弓 武仁	中山 剛志(※)	真弓 武仁
内科	原田 由紀子					原田 由紀子
渡航外来(予約制)	原田 由紀子(午後)			原田 由紀子(午前)		
糖尿病内科	伊奈 雄二郎(院外紹介)	佐々木 修二(※)	伊奈 雄二郎(院外紹介)			
神経内科(午前中・予約制)				本田 真也(※)		
精神科				中津 勇紀(※)		
消化管内視鏡	山口 敏	具嶋 正樹／村上 祐一	山口 敏	具嶋 正樹／村上 祐一	具嶋 正樹	具嶋 正樹
胃透視		具嶋 正樹	村上 祐一			山口 敏
心臓血管外科		上野 安孝／恩塚 龍士		上野 安孝／栗栖 和宏	上野 安孝(予約のみ)	
外科	午前	篠原 正博 宮竹 英志	石光 寿幸 中原 千尋	篠原 正博 宮竹 英志	鈴木 宏往	石光 寿幸 (吉田 順一)
	午後		乳腺外来／石光 寿幸	ストーマ外来(第2第4) (初診のみ)	ストーマ外来(第2第4) 篠原 正博	
呼吸器・感染症外来 (呼吸器外科)	吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター (呼吸器外科)			井上 政昭		井上 政昭 (金山 雅俊)	(吉田 順一)
小児外科	白井 剛(院外紹介)			白井 剛 九大派遣医師(第1・3)		
脳神経外科	中村 隆治／尾中 貞夫	中村 隆治／尾中 貞夫	中村 隆治／尾中 貞夫	中村 隆治／尾中 貞夫	中村 隆治／尾中 貞夫	中村 隆治／尾中 貞夫
整形外科	再診	白澤 建藏／原田 岳 原口 明久	渡邊 哲也 坂本 和也	山下 彰久 廣瀬 育	原田 岳 河野 紘一郎／橋川 和弘	白澤 建藏 山下 彰久
	新患	橋川 和弘	原田 岳 原口 明久	白澤 建藏(紹介のみ) 河野 紘一郎	山下 彰久 廣瀬 育	渡邊 哲也 坂本 和也
泌尿器科	一診(初診)	吉弘 悟	有川 誠	吉弘 悟	有川 誠	吉弘 悟
	二診(予約のみ)	有川 誠	吉弘 悟	有川 誠	吉弘 悟	有川 誠
眼科	登根 慎治郎	登根 慎治郎 午後～手術	登根 慎治郎	登根 慎治郎 午後～手術	登根 慎治郎	登根 慎治郎
放射線診断科		箕田 俊文				
放射線治療科	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子	有賀 美佐子
小児科	小児科	河野 祥二／大西 佑治	関 友美(※)	東 良紘(※)	河原 典子(※)	大西 佑治／河野 祥二
	アレルギー	永田 良隆(再診)	永田 良隆(新患)	河野 祥二		永田 良隆(再診)
児童科	心身症				大賀 由紀(※)	
	予約健診・予防接種		河野 祥二／関 友美(※)		大西 佑治／河原 典子(※)	
科	アレルギー					永田 良隆
	慢性疾患			河野 祥二／大西 佑治		河野 祥二
科	心身症				大賀 由紀(※)	
	精神経			綿野 友美(※)		
産婦人科	午前一診	前田 博敬	川崎 憲欣	前田 博敬	前田 博敬	川崎 憲欣
	午前二診	川崎 憲欣		川崎 憲欣	大川 彦宏(※)	
産婦人科	午後	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)
		藤原 義樹	藤原 義樹	藤原 義樹	藤原 義樹	藤原 義樹
疼痛外来 ペインクリニック内科		兒嶋 四郎	平田 孝夫	坂 康雄	兒嶋 四郎	兒嶋 四郎
術前診察						
皮膚科	内田 寛 午後の外来は13～14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13～14時受付	内田 寛 午後：手術	内田 寛 午後：手術	内田 寛 午後の外来は13～14時受付
耳鼻咽喉科	平 俊明 西山 和郎	平 俊明／西山 和郎 午後：手術	平 俊明／西山 和郎 午後：手術	平 俊明 西山 和郎	平 俊明／西山 和郎 午後：手術	平 俊明／西山 和郎 午後：手術
歯科・歯科口腔外科	入学 陽一 坂口 修(※)隔週交代 喜多 涼介(※)隔週交代	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一 高橋 理(※)／笹栗 正明(※)	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一 宮本 郁也(※)隔週交代 児玉 正明(※)隔週交代
緩和ケア外来						今村 秀(※)／午前中(予約制)
救急科(午前・午後)	中原 千尋／岡山 卓史	中原 千尋／岡山 卓史	中原 千尋／岡山 卓史	中原 千尋／岡山 卓史	中原 千尋／岡山 卓史	中原 千尋／岡山 卓史

◆糖尿病教室(要予約：内科外来にお問い合わせください。)

◆ペースメーカー外来(内科外来：要予約) 每月第2月曜日13:00～15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)



地方独立行政法人
下関市立市民病院
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>

地域医療連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力お願いします。